

やどりき水源林ニュース

発行(公財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
 220-0073 横浜市西区岡野2 12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ(費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

水の中はアナザーワールド

森林から流れ出た水は集まりやがて溪流を作ります。外から眺めただけでは分かりませんが、水の中を観察すると、地上では見ることができない、生き物たちの営みを目にすることができます。

石を持ち上げて表面を見ると、活発に動き回るカゲロウの幼虫が見つかります。彼らは石の表面に付いた苔を食べて生きています。さらに石の表面をよく見ると、小さい石がくっついているのを見ることがあります。それはきっとトビケラの幼虫の巣です。そして、強靱なアゴを持った肉食のヘビトンボやカワゲラの幼虫が彼らを狙っています。やどりき水源林では多くの水生生物を観察することができます。今まで見つかった一部を紹介します。



カジカガエル
美声の持ち主。雄は春にヒュルヒュル〜と鳴く。



サワガニ
純淡水性のカニ。片方のハサミが大きいのがオスの特徴。



カゲロウの幼虫
腹部が扁平でエラが目立つヒラタカゲロウの仲間



カジカ
前ビレと頭が大きい。水生昆虫をエサとする。



トビケラの幼虫
口から糸を出し、小石や枝葉をくっつけて巣を作る。



カワゲラの幼虫
頭および前胸、中胸、後胸がはっきり区別できる。



ヘビトンボの幼虫
強靱なアゴを持つ、溪流最強の捕食者(プレデター)



プラナリア
細切れにすると、その断片ひとつひとつが個別に再生する。

水中には別世界が広がっています(上下の写真は別の場所で撮影)

夏休み最初の土曜日。やどりき水源林は、森林再生パートナーとして、森林づくりにご協力いただいている企業3社の、家族連れの皆さん総勢210名でにぎわいました。

(株)日立システムズ

- ・水生生物観察
- ・クラフト体験
- ・いやし体験
- ・自然観察



水生生物観察

子どもはもちろん大人も童心に帰り、水生生物観察を行いました。カワゲラ、トンボ、ヘビトンボ、カガンボなどの幼虫が見つかりました。



どんぐりのクラフト

いやし体験
林の中で瞑想



(株)荏原製作所

- ・水生生物観察
- ・草木染め
- ・自然観察
- ・丸太筋工



草木染め

模様を付けるため、輪ゴムや板で布を縛り、植物の煎じ液で煮染したあと、媒染剤で発色させます。左:カツラ+鉄媒染。右:アブラチャン+チタン媒染



丸太筋工の製作



水生生物を採集後、白バットに移して詳しく観察

インストラクターの案内で自然観察



タカナシ乳業(株)

- ・水源涵養実験
- ・径路の整備



水源涵養実験

草木が生えている装置と土だけの装置に同じ量の水をかけ、表面および地中から流れ出る水の量や透明度を比較し、森林の役割を理解します。



大雨で荒れた「タカナシの森」の径路を整備しました。



8月のトピックス

タマアジサイが見ごろです。球状のつぼみが裂けるように開花し、8月の水源林を彩ります。



9月の水源林

林内の少し薄暗い湿気が多い場所を歩くと、きのこを見つけることができます。写真は傘が大きいカラカサタケです。

